

平成 27 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 1 健やかな暮らしを支え、安全で快適に暮らせるはつかいち
 政策目標 4 子どもが健やかに育つまちに
 重点的取組 2 確かな学力を身につけ、社会をたくましく生きる子どもを育てる

担当課名	教育部 教育指導課		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	09	教育費
	項	03	中学校費
目	目	01	学校管理費

事業名	中学校管理運営事業	事業開始年度	平成 26 年度
	校務支援システムの運用（中学校）	根拠法令 条例 個別計画等	廿日市市教育振興計画

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	中学校	市内中学校において、ICTを活用し、情報の一元化や成績管理などの効率化を進め、校務支援システムを運用し業務改善を図る。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	市役所(職員)の役割	関係団体(パートナー)	関係団体(パートナー)の役割
市	校務支援システムを運用し業務改善を図るための支援	市立中学校	校務支援システムを活用し業務改善を進め子どもと向き合う時間を生み出す

3 平成 27 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容（活動実績）	《校務支援システム》							
	<ul style="list-style-type: none"> グループウェア機能による校務用個人パソコン上での掲示板、スケジュール管理、アンケート実施から集計まで行える。校務用個人パソコンで内部メール機能を利用できるようになり、情報交換がスムーズになる。 学籍・名簿管理を一元管理し、一度データ入力を行えば、小中9年間データ移行をすることで同じ作業を繰り返すことがなくなる。 学籍・名簿管理と成績機能をリンクさせることで、成績処理から通知表・調査書・指導要録・抄本の作成までを一元化でき、必要最低限の作業で多様な事務作業を安全かつ確実に実施できる。 							
	○校務支援システムの安定した運用を行うことで、学校における教職員の校務量を削減し負担を軽減した。							
	【歳出】							
			区分	内容	H27決算額			
			使用料及び賃借料	統合サーバ賃借料	11,330,748			
			合計		11,330,748			
	コスト情報（円）	項目		平成 26 年度決算	平成 27 年度決算①	①のうちH26から繰越	H27からH28へ繰越	
		財源内訳	直接事業費 A	1,888,458	11,330,748			
			国庫支出金					
県支出金								
借入金(市債)								
その他(使用料など)								
		市(市税など)	1,888,458	11,330,748				
		人件費(按分) B	0.31 人 2,657,940	0.19 人 1,607,020				
	総事業費(A+B)	4,546,398	12,937,768					
到達目標	活動成果	活動	校務支援システム機能停止回数	回	0	0	0	
		成果	校務支援システムによって負担が減ったと感じる教職員	%	試行運用のため未実施	60.0	34.1	